



三つ柏

— MITSU KASHIWA NO.10 —

令和3年6月16日発行

なんていっぱな一年生 5時間目でも・・・

休み時間や給食の時に会うと、個性的で面白い子どもたちだなあとと思うのですが、授業の時の態度はとても立派。5時間目になっても、勉強にしっかり向かっています。



家庭の躾がよいのはもちろんですが、小百合保育園の確かな指導のたまものでもあります。

そして、下学年の指導のベテランである知栄美先生の様々なテクニックもさすがです。授業の始まりの合図、「グー、ペタ、ピン、サ。これ



から5時間目の勉強を・・・」だそうです。何かと聞いたら、「グー」は、机とお腹、いすの背もたれと背中

の間にそれぞれ握り拳一個分の空きをつくること、「ペタ」は、足の裏全体を床につけること、「ピン」は、背筋を伸ばすこと、「サ」は、手を膝に置くことだそうです。全員で声をそろえ、動作に変えたおかげで、子どもたちは集中して学習を始めました。

「落ち着きましたね」 ～2・3年生、4年生、そしてどんぐりの子どもたち～

頑張っているのはもちろん1年生だけではありません。15日に仙北市教育委員会の3人の先生が、いくつかの学級の授業を参観しました。2・3年生は書写の授業で、電子黒板の映像などを参考にしながら、とてもよい姿勢で筆を運んでいました。これなら服を汚すこともあまりないでしょう。4年生はつなぎ言葉に気を付けて文をつくる学習でした。つなぎ言葉を選び、それに合った表現で言葉を加えます。「明日は晴れるだろう。」の次に「だから」を選び、それに合うように考えて「友だちと遊ぼう。」を加えるというようにです。みんないくつもの問題を、次々と解いていました。どんぐりは絵の内容に合った文を、示されたことばのいくつかを使って、まとめる学習でした。助詞の使い方が難しいのですが、子どもたちは、出題の意味をしっかり理解していて、自分の力で書き始めました。

参観した先生方の中には、何年も前の子どもたちの様子を知っている方がいます。「すごく落ち着いて学習に向かっていますね。以前と比べ、びっくりするほど成長しています。子どもたちにとって分かりやすい授業にするための工夫がされていることや担任や支援員さんが一人一人に目をかけ、適切な支援をしているからだと思います。」というおほめの言葉をいただくことができました。

この言葉を聞き、確かに去年の初めの頃に比べ、子どもたちの集中力が上がったなあ、やる気が増しているなあと改めて思いました。

プールは工事中 ～楽しい水泳授業はもう少し先に～

ご存じの通りプールが古くなったため、特に底が広くはがれてきていました。毎年、いろいろな手を打ってきたのですが、はがれは止まりませんでした。困ったなあと思っていましたが、今年は教育委員会の応援を十分いただけることになり、底全面を塗り替えてもらうことになりました。うれしいことです。現在工事中ですが、凸凹をならさねばいけませんし、相当な広さがありますので、作業に時間がかかっています。そのため、実際にプールを使えるようになるのは7月になってからになります。ご了承下さい。暑くなってきたのにプールに入れないと子どもたちがかわいそうと思われる方もいると思いますが、教室にはエアコンがあり、快適ですのでご安心下さい。